



「小さな声」を大切に、活発に政策提言をしています！



よしみは「小さな声」を大切に、議会活動などを通じて活発に政策提言を行っています。ぜひ、皆様の声を聴かせてください。

令和2年度会派政策提言



12月4日(水)、2020年(令和2年度)政策提言書を松山市議会公明党から野志克仁松山市長に提出しました。重点要望13項目、一般要望94項目。市民の皆様の声を基に、現場主義の知恵で編み上げた計107項目の政策提言集。重点要望事項は下記のとおりです。

- 南海トラフ巨大地震や異常気象による豪雨災害などの自然災害に備え、防災・減災対策を講ずること。
- 東京五輪・パラリンピックを好機と捉え、本市誘客に注力すること。
- 新たな水源の確保に努めるとともに、節水型都市づくりを推進すること。
- 松山市がん対策推進条例に基づき、がんになっても安心して暮らせる環境づくりやがん教育の普及など、がん対策をいっそう強化すること。
 - ひきこもりの理解啓発と当事者・家族への支援を強化すること。
 - 認知症予防策を強化するとともに、認知症の人が安心して暮らせる共生社会となるよう、認知症対策に全庁的に取り組むこと。
 - 災害及び地球温暖化対策の補助制度の拡充を図ること。
 - 高齢者の運転による交通事故の防止に万全を講じ、安全運転支援装置の普及のための費用助成をすること。
- 地域に応じたさまざまな施策の実施により、交通弱者対策を講ずること。
- 地域経済の発展・活性化のために、新たな企業立地の促進や創業・起業支援の強化を図ること。
- 「いで湯と城と文学のまち・まつやま」の魅力を生かし、体験型・滞在型の観光誘客を図ること。
- 学校生活における子どもの安全対策を図ること。
- 災害時に避難所となる体育館にエアコンを設置すること。



12月定例会での一般質問

2019年12月4日(水)、松山市議会12月定例会本会議で一般質問をしました。質問と答弁で合計1時間。よしみはこれからも市民の皆様の声を市政に届けて参ります。

1. 東京五輪・パラリンピックを好機とした活性化策について

- (1) 東京五輪開催に向けた本市の取り組みについて
- (2) 東京五輪を契機とした長期的な本市誘客への取り組みについて



2. 洪水浸水対策について

- (1) 台風19号の洪水浸水被害から本市が学ぶべきことについて
- (2) 本市を流れる河川の洪水浸水想定について
- (3) 洪水浸水時の避難について

- ① 「津波避難ビル」・「津波避難タワー」に相当する「洪水避難ビル」のようなものを指定・設置する考えはないか。
- ② 洪水浸水から命を守るために具体的にどのようにすれば良いか。

3. 温暖化対策について

- (1) 「気候非常事態宣言」の採択について
- (2) 太陽光発電システム等クリーンエネルギーの導入状況について
 - ① 太陽光発電システム等クリーンエネルギーの補助実績について
 - ② 市有施設への導入についてはどのようになっているか。
 - ③ 市庁舎などにも太陽光発電システムを設置してはどうか。
- (3) 地球温暖化対策の今後について



4. 国保保険料軽減措置の見直しについて

- (1) 今回の特例措置見直しの経緯について
 - ① 見直しにより保険料負担はどのように変わるのか。また、軽減割合や該当人数等はどうなるのか。
 - ② 見直しによって本市の費用負担はどうなるのか。
 - ③ 見直しに向けてはどのような検証がなされたのか。その経緯と内容について
- (2) 市民への周知について
- (3) 軽減特例措置を継続することについて

5. 一人でも多くの方が幸せを実感できるように

- (1) 小・中学校制服の選択制について
- (2) 「こども六法」など命を守る副教材の活用について
 - ① 本市の教育現場等においても、子どもたちが自分の命と生活を守るよすがとして「こども六法」を広く活用してはどうか。
 - ② あるいは、子どもたちの命を守るための分かりやすい副教材を市独自で作成し、活用するようにしてはどうか。
- (3) 新たな幸福指標の策定と導入について

